

広報 すぎなみ

Suginami



支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

11/1
平成30年(2018年)
No.2240

子どもへの「思い」を
「寄附」にして託す。

わが子、わが孫はもとより、子ども
の輝く笑顔を見て、健やかな成長
を願う方は多いかと思えます。
明るい未来のために何か力になり
たい、そんな思いを受け止め、具
体的な取り組みにつなげるために
設立された次世代育成基金。多く
の思いが寄附となり、子どものた
めの事業に活かされ、そして子ど
もの心に将来への希望が生まれて
いく—基金は確実に未来へ思いを
つないでいます。



特集
杉並区次世代育成基金

Contents —主な記事—

6-7 | お知らせ 29年度の決算報告 9 | 杉並区肺がん検診の受診期間を延長します 16 | 温泉を楽しもう ほっこり^{たの}楽し湯

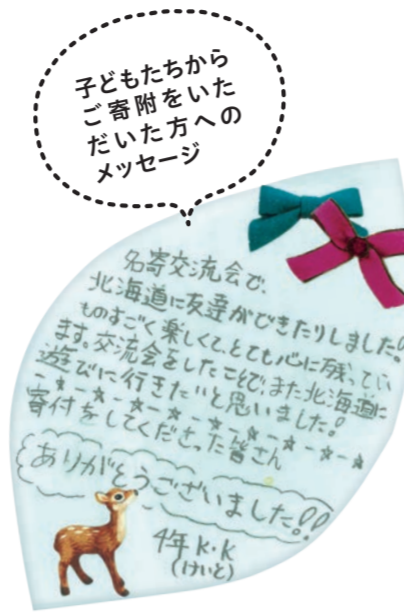
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

次代を担う子どもたちを応援しよう！ 杉並区次世代育成基金

杉並区次世代育成基金は、自然・文化・芸術・スポーツなどさまざまな分野における国内外での体験・交流を通じて、次代を担う子どもたちが将来の夢に向かって視野を広げ、健やかに成長できるように支援する区独自の仕組みです。24年度のスタート以来、これまでの6年間に、多くの皆さまから心のこもったご寄附をいただき、延べ2658名（29年度末時点）の子どもたちが普段は経験できない体験・交流事業に参加しました。本事業を通じて成長した子どもたち、引率者、ご寄附をいただいた方にお話を伺いました。

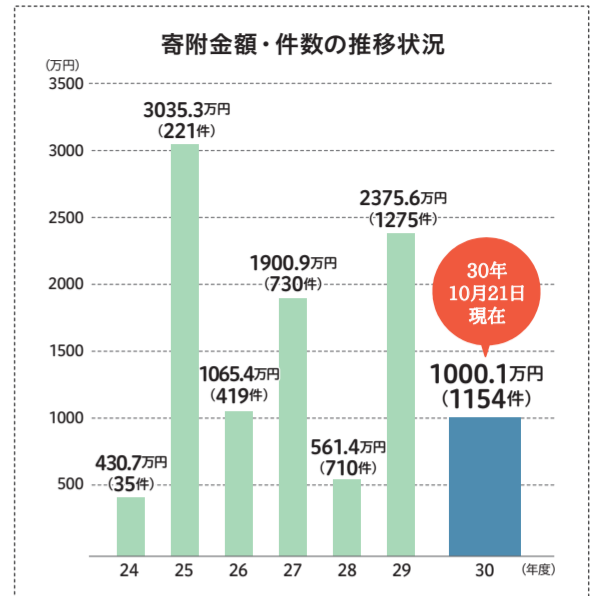
—問い合わせは、児童青少年課青少年係 ☎3393-4760へ。



区長からのメッセージ

杉並区長 田中 良

「子どもへの施策は成果が見えにくい。しかし、子どもの心の中に必ず残るものがある」—そう信じて、私は「次世代育成基金」を創設しました。あれから6年。子どもたちは成長し、基金活用事業への参加を契機に将来の目標を定め、海外に飛び出す学生も現れました。「成果の芽」は早くも萌芽し、花を咲かせようとしているのだと実感しています。これまでの寄附総額は1億円を突破。寄附者の裾野は広がり、29年度は1200名にも及びました。定期的にご寄附いただいている方や、ふるさと納税として地方から振り込まれる方もいらっしゃいます。ご賛同いただいた方々の温かい思いに心から感謝申し上げます。寄附者の思いが基金を通じて子どもに託される。その子どもたちが大人になり、さらに次の世代を育てていく。そうした「支援の循環」が杉並に根付き、子どもの希望に満ち溢れた未来にどこまでもつながるよう、これからも取り組みを進めてまいりたいと思います。



28年「中学生海外留学」に参加

海外留学を通じて、学校の勉強だけでなく、社会に目を向けられるようになりました。

オーストラリアのウィロビー市で、自分と同年代のバディの家にホームステイしながら、ハイスクールと一緒に通って英語で授業を受けたり、週末には家族と動物園に行ったりしました。学校では将来の夢を語り合うことも普通で、彼らが将来のことをしっかりと考えながら生きていることを実感させられるとともに、自分自身も学校の授業だけでなく、社会に目を向けなくてはと考えるようになりました。そこで高校に入ってから、シンガポールやアメリカで開催されるビジネスの大会などにも参加するようになりました。大会ではさまざまな国の高校生が英語でプレゼンテーションを行うのですが、育った環境や文化が違っても伝えたいという意志があれば伝えることがオーストラリアで体験したことが自信につながっています。将来は、地方創生の仕事に就き、人口が減少する日本の中での豊かな社会づくりに挑戦したいです。



本郷高校2年 西山知樹さん

interview

29年「交流自治体中学生親善野球大会」に参加

自分から話し掛け、自分で考えることの大切さを学び、積極的に輪をつくることのできるようになりました。

台湾では、北海道名寄市、福島県南相馬市、杉並区の各チームが、台北市の中学生との親善試合を行いました。杉並区から選ばれたメンバーで練習を重ねる中でコミュニケーションの大切さを学んだことで、名寄市や南相馬市から参加したメンバーにも、自分たちから積極的に声を掛けて親しくなることができました。チームのコミュニケーションがよくなると笑顔が増え、伝えようとする気持ちが全員に芽生えます。この大会に参加したことで、意見を出し合いながら自分たちで考える力が身に付いたと思います。また、台北のチームのメンバーとも英語で話をする中で、言語やバックグラウンドが違う人たちともコミュニケーションができることを学びました。将来は、スポーツ関係の仕事に就き、スポーツを通じてさまざまな人との関わりをつかっていきたいです。



井草中学校3年 玉田諒吾さん

interview



30年「中学生海外留学」の引率者

杉並和泉学園 学園長 田中稔さん

子どもたちは、やがて次代を担う社会人になります。その日に向けてより充実した事業となるよう期待しています。



体験・交流事業に参加する子どもたちは、将来、外国語を使う仕事に就きたい、自然に関わる仕事に就きたいといった強い意志を持っています。また、区民の方々が寄附を通じて自分の未来に対して投資をしてくれていることも知っているので、覚悟を持って参加しています。そういった子どもたちを引率することは、教育者としてもやりがいのある仕事だと感じています。この事業がより充実することでOBやOGが増え、さまざまな分野で活躍するようになってほしいと思っています。

ご寄附をいただいた方の声

区内在住 磯上武章さん

私自身も杉並区で育ってきたので、未来のために、できることをしたいと考えています。



息子が小学1年生の時に野球部に入って以来、私は杉並区の学童チームの監督や杉並区軟式野球連盟のマネジメントで、長年、ボランティアとして関わってきました。野球を通じて子どもたちと接することで、子どもは大切だという気持ちが強くなり、また、ちゃんとしたお手本にならなくてはという気持ちから私自身も成長したと感じています。基金の寄附を始めたのは、杉並区で育ってきた人間として、できることをしたいという気持ちからです。将来は自分の孫も、基金のお世話になるかもしれません。こういった事業は、今後も継続して行ってほしいと思います。

他にもこんな取り組みに活用しています！

基金創設の24年度より区内の子どもを対象とした区の事業に基金を活用しています。また、27年度からは民間の団体等が実施する子どものための事業に対しても基金から助成しています。



▲チャレンジアスリート



▲小学生名寄自然体験交流事業



▲サイエンスホッパーズ科学実験教室



▲杉並・テキサス交流プロジェクト

次世代育成基金への寄附の方法

- 1 ゆうちょ銀行窓口から（払込手数料は不要）
次世代育成基金リーフレットに添付の払込取扱票を使用し、郵便局窓口で手続きをお願いします。
- 2 その他金融機関窓口、インターネットバンキングから（振込手数料は原則、自己負担）
指定口座：ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキュー）店
当座貯金 0600114
口座名義：杉並区次世代育成基金（スギナミクジセダイイクセイキケン）
※通信欄に住所、氏名、電話番号の記載。
- 3 ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」のHPから（右2次元コード）



Check! 次世代育成基金は「ふるさと納税」の対象です

寄附をすると税制上の優遇措置があり、確定申告による控除、またはふるさと納税ワンストップ特例制度による控除が受けられます。

杉並区の「ふるさと納税」

次世代育成基金の他にも、「荻外荘の復原・整備」「日本フィルの被災地復興支援の応援」などに寄附することができます。

